

歩行・階段昇降 改善症例

利用者情報

60 歳代女性 くも膜下出血、両変形性膝関節症

介護度：要介護 3 (介入時)→要支援 2 (現在)

訪問リハ初回介入日：2019.5.13 (介入時 FIM112 点)、週 3 回利用

経過

くも膜下出血により両下肢及び右上肢に運動麻痺と痺れの後遺症が残存、自宅内は広く車椅子自走にて生活していた。本人の希望はまずは家での身の回りの事を自分でできるようになりたい、その後は家事や趣味の外出ができるようになりたいとの事だった。

入院中の歩行は歩行器や杖を使用し軽介助で行えていたが、転倒への不安から退院後には行えていなかった。生活範囲は自宅1階の居室とトイレ・浴室までと狭く、活動量も少なくなっていたため、リハビリでは介助にて屋内歩行訓練の反復や筋力強化練習、バランス練習に加え、転倒に配慮した形で自主練習の指導も併せて行っていった。

少しずつ体力がついてきたことで 2019 年7月頃から4点杖を使用して自宅内での歩行は自立して行えるようになり (FIM118 点)、同年10月頃からはリハビリで屋外歩行練習も行えるようになっていった (FIM120 点)。その後も玄関や階段昇降の練習、横断歩道の使用にあわせた歩行速度の確認などを行い、2020 年3月頃には近くの商店まで1人で買い物に行けるようになった (FIM121 点)。同時期に要介護3から要支援2に変更となった。



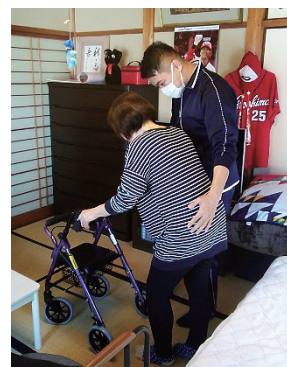
①介入当初 2019 年 5 月：自宅内 30m軽介助

FIM112 点

歩行5点 (車いすを使用し屋内移動は自立も歩行は非実施)

階段3点 (外出で階段を使用する際は息子に体を支えてもらい昇降していた)

写真：介助での歩行器歩行と自主練習の実践場面

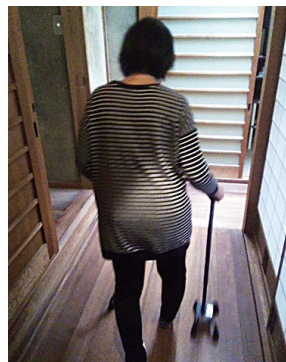


②2019年7月

FIM118点(6点向上)



歩行 6点(屋内の移動は4点杖を使用して自立)
階段 5点(安全のため側方から指先介助)
写真: 屋内四点杖歩行自立場面と段差昇降訓練



③2019年10月

FIM120点(8点向上)



歩行 6点
階段 5点
屋内移動も安定して行えるようになり、屋外歩行練習を開始。歩行や階段のFIM点数上は変化が無いものの、活動範囲を少しずつ拡大していった。

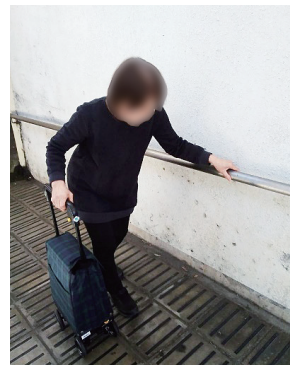


④2020年3月: 近隣の商店まで往復300m程度杖を使用して自立

FIM121点(9点向上)



歩行 6点
階段 6点
屋外歩行及び階段昇降も4点杖を使用して自立に至る。
キャスター付きのバッグを使用して公共交通機関を利用
しての外出も可能となった。



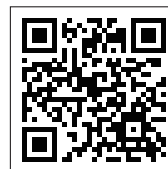
インテリジェントヘルスケア株式会社

〒530-0047 大阪府大阪市北区西天満4丁目11-23 満電ビル3階
TEL: 06-6312-5000 (代表) FAX: 06-6312-5099
<https://nursing.nursing-hc.co.jp/>



イメージキャラクター
ワータンちゃん

ホームページはこちら!



2021年4月現在